

令和2年度 第1回運営委員会議事録

■日時：令和2年4月21日（火）14:00～17:30

■Chat work 「AR-運営委員会」

■出席：鈴木勝行、宮崎弘子、佐藤英人、木内勝司、渡邊勇、山本実穂、大熊勝、廣川千恵子

■進行：佐藤英人

■議長：鈴木勝行

■書記：宮崎弘子

■資料：①次第

②議案書（鈴木）

③総会、書面評決についての県NPO担当からのアドバイス（大熊）

④全国水環境マップ実行委員会事務局からのお知らせ等（渡邊）

⑤2020年度荒川流域一斉水質調査の進め方について（大熊）

⑥2020年度アユ遡上調査計画表（金澤）

■協議内容

1. 総会議案書（素案）について

《1》表紙について

「書面表決」等による表現する必要があるのではないか

➡県の担当者と相談して期日までに決定する。（大熊）とのことなので、大熊さんに一任することとする。

《2》第1号議案について

・「全国水環境実行委員会に参加」を「全国水環境マップ実行委員会」に修正。

・荒川上中流域でのクリーンエイド活動について

（鶴ヶ島市、鴻巣市は台風のため中止）を（鶴ヶ島市は実施、鴻巣市は台風のため中止）に修正。

・荒川太郎右衛門自然再生事業への参加について、受益者人数を約1000人とする。

・漁協との連携について、受益者人数を約1000人とする。

《3》第2号議案について

・受取寄付金212,000円の内容についての質問に対して説明をした。（宮崎）

《4》第3号議案について

・「入間川に設置された魚道の遡上環境改善活動（菅間堰、浅間堰）」について、コロナウィルス状況から、今年は実施しない方がよいので、実施欄に「中止」と記載する。この件については、「サイサン環境保全基金」と相談をする。

・「水質調査結果の時系列データベース作りの継続」において従業者人数は2人、受益者人数は1000人（水質調査マップと同数）とする。

・第3号議案について、「実施日は新型コロナウイルスへの対応により、予定が延期・中止になることもありうる。」と「注」を付ける。

《5》第4号議案について

・事務消耗品が前年度93,078円であるのに今年度予算が20,000円であることについての質問

➡前年度は仮設魚道材料代概ね80,000円（特別支出）を計上したので、今年度は20,000円で

大丈夫。(大熊、宮崎)

- ・第3号議案において菅間堰、浅間堰における魚道改善活動を中止としたので、第4号議案から「魚道改善活動」を外す。

2. 2020年度の標識放流調査について

- ・金澤さんから、標識放流をもう1回(埼玉西部漁協から購入、5～6人で実施)したいとの申し出があったが、現在のコロナウイルス状況を考えるならば、今後はたとえ少人数でもやめることにする。
- ・6月1日から始まる友釣り調査は金澤さんと浅井さんお願いすることとする。
(当会で契約をしているイベント保険は、調査活動は対象外であることを確認した。)

3. 2020年度の一斉水質調査の取り組みについて

コロナウイルス感染拡大状況により、延期のこともある。

第3号議案において、「6月7日」を「7月中(延期の可能性もあり)」に改める。

4. 魚とりイベント開催について

日程と場所の確認をした。

- ・8月9日(日) 都幾川二瀬橋
- ・8月16日(日) 高麗川獅子岩橋
- ・9月13日(日) 越辺川石今橋

実施の可否は、コロナウイルス感染拡大状況によるので、7月以降に検討をする。

- ◆次回 令和2年度第2回運営委員会
日時: 5月12日(火) 14:00～
会議の方法 ChatWork

以上